

索引

斜体数字：第2巻のページ数

欧文

B・D

- Bonferroni法……………② 109, 111, 119
 Brunner-Munzel検定……………② 71
 Duncanの検定法……………② 115
 Dunnett法……………② 116, 119

F・G

- Fisher's PLSD法……………② 105
 Friedman test → フリードマン検定
*F*検定……………② 55, 86
*F*分布……………② 56, 86
 Games-Howell法……………② 109

H・K

- Holm法……………② 111, 119
 Kruskal-Wallis test
 → クラスカル・ウォリス検定

L・M

- LSD法 → Fisher's PLSD法
 Mann-Whitney *U* test
 → マン・ホイットニー*U* 検定

N・O

- Newman-Keuls法……………② 110
 one way ANOVA
 → 一元配置分散分析

P・R

- paired *t* test → 対応のある *t* 検定
*p*値……………① 119 ② 44
 repeated measures ANOVA
 → 反復測定による一元配置分散分析

S

- Scheffé法……………② 109
 Shaffer法……………② 111, 119
 Shirley-Williams法……………② 117
 Steel-Dwass法……………① 98 ② 117, 122
 Steel法……………② 117
 Studentの*t*検定……………① 96 ② 31

T・U

- Tukey-Kramer法 (Tukey法)
 ……………① 96 ② 109, 113
 two way ANOVA
 → 二元配置分散分析

<i>t</i> 検定	① 96 ② 17, 29
<i>t</i> 分布	① 85
unpaired <i>t</i> test → 対応のない <i>t</i> 検定	

W

Welchの <i>t</i> 検定	② 17, 20, 30, 59
Welchの方法	② 79, 81
Wilcoxon rank sum test → ウィルコクソン順位和検定	
Wilcoxon signed rank test → ウィルコクソン符号付順位検定	
Williams法	② 116

和文

あ行

一元配置分散分析	② 74, 79, 82
一元配置分散分析のWelchの方法	② 79, 81
一元配置分散分析の限界	② 97
ウィルコクソン順位和検定	① 98 ② 64
ウィルコクソン符号付順位検定	② 67
上側検定	② 48

か行

介入実験	② 22
片側検定	② 26, 48
合算の不偏標準偏差	② 40
合算の不偏分散	② 40

危険率	② 44
記述統計	① 18
帰無仮説	① 110 ② 41
クラスカル・ウォリス検定	① 98 ② 79, 94
群間変動	② 84
群数	① 39
群内変動	② 83
検出力	① 35
検定	① 18
効果量	① 35
交互作用	② 75, 134
交互作用の変動	② 142

さ行

再現性	① 30 ② 128
最小有意差法 → Fisher's PLSD法	
サンプルサイズ	① 31, 34
下側検定	② 48
実験計画	① 25 ② 124
実在母集団	① 27
自由度	① 73
重複測定 - 二元配置分散分析	② 152, 160
順位和	② 65
真の不偏標準偏差	① 57, 75
水準A間変動	② 141
水準B間変動	② 141
水準内変動	② 141
推測統計	① 18

推定	① 18
スチューデント化された範囲の分布	② 114
ステップダウン法	② 111, 115
ステップワイズ法	② 111
スミルノフの棄却検定	① 52 ② 70
正規性の検定	① 99 ② 29, 79
正規分布	① 60
相加作用	② 75
相殺作用	② 75
相乗作用	② 75
総変動	② 83, 141
測定誤差	① 44

た行

第1種の過誤	② 103
対応のある2群の検定	② 49
対応のあるt検定	② 18, 49, 51
対応のある実験	② 18
対応のある場合の一元配置分散分析	② 91
対応のない2群の検定	② 34
対応のないt検定	② 20, 34, 51
対応のない実験	② 18
対立仮説	① 110 ② 41
多元配置分散分析	② 77
多重性の問題	② 100, 125
多重比較	② 17, 74, 78, 81, 100, 108
多重比較一覧	② 110, 118
多重比較の欠点	② 121

重複測定 - 二元配置分散分析	② 152, 160
統計的仮説検定	① 18
等分散性の検定	② 31, 55, 79

な行

二元配置分散分析	② 75, 130, 139
二元配置分散分析での多重比較の問題点	② 164
二元配置分散分析の結果に対する多重比較	② 158
二元配置分散分析の限界	② 154
二元配置分散分析の利点	② 153
ノンパラメトリック検定	① 25, 51, 98, 106 ② 62, 94

は行

ハートレイの検定	② 79
バートレットの検定	② 79
外れ値	① 50
バラツキ	① 43
パラメータ	① 67
パラメトリック検定	① 25, 43, 51, 96, 105 ② 29
反復測定による一元配置分散分析	② 91
標準化	① 83, 113, 115
標準誤差	① 20, 56, 59, 81
標準正規分布	① 83, 113
標準偏差	① 20, 56
標本	① 18, 27

標本サイズ → 標本の大きさ	
標本の大きさ	① 30, 31, 34
標本標準偏差	① 57, 68, 71, 79
標本分散	① 69, 79
標本平均	① 31, 41, 43, 68
標本平均の分布	① 114
不偏推定量	① 72
不偏標準偏差	① 57, 72, 73, 75, 79
不偏分散	① 72, 75, 79
不偏分散平方根	① 58
フリードマン検定	② 94, 95
分散	① 61
分散分析	② 74, 82
平均平方	② 107
平方和	① 63
偏差	① 56
母集団	① 18, 27, 61
母集団の大きさ	① 31
母標準偏差	① 57, 60, 63

母分散	① 31, 61, 63
母平均	① 31, 41, 61

ま行

マン・ホイットニー-U検定	② 67
無限母集団	① 30
無作為抽出	① 32

や行

有意差	① 110
有意水準	① 112 ② 43
有効数字	① 47

ら行

ランダムサンプリング	① 32
両側検定	① 112 ② 26, 47
ルビーンの検定	② 79